

紹介

加藤 元氏 (元 日本動物病院福祉協会会長) WSAVA「世界獣医療優秀ヘルスケア賞」受賞

2014年9月、南アフリカのケープタウンで開催された第39回WSAVA(世界小動物獣医学会 年次大会: World Small Animal Veterinary Association Congress)において日本動物病院福祉協会(現・日本動物病院協会)の元会長(初代・2代・10代・11代)である加藤 元氏(ダクタリ動物病院総合院長)に「世界獣医療優秀ヘルスケア賞(Excellence in Veterinary Healthcare Award)」が授与された。

この賞は、伴侶動物と家族の絆(ヒューマン・アニマル・ボンド)のために、先進的な獣医療の提供を通じて国際的に優れた社会貢献が認められた獣医師に贈られるものであり、WSAVA加盟国の中から毎年1名が選出され、この賞の創設以来、世界で13人目、日本人では初の受賞となった。

これを受け、2014年10月30日には、加藤氏の北海道大学の同級生であり、昨年80歳で3度目のエベレス

ト登頂に成功して話題となった登山家の三浦雄一郎氏が発起人代表となり、日本獣医師会の藏内勇夫会長をはじめ多数の著名な方々が発起人に名を連ねて、受賞記念祝賀会が催され、海外からの参加者をはじめ、各獣医師会、動物病院、獣医療関連企業の関係者等、総勢350人が出席された。

加藤氏は獣医療界のパイオニアとして、80歳を超えた現在でも獣医療の現場に立つ傍ら、日本動物病院協会の他、人と動物と自然(地球環境の保全)を大切にする「ヒューマン・アニマル・ネイチャー・ボンド(Human Animal Nature Bond)」を理念とする(一財)J-HANBSの創設(理事長)、また日本のみならず海外でも、コロラド州立獣医科大学客員教授及び日本親善大使や、IAHAIO(人と動物の相互作用国際学会)の副会長も務められており、今後もさまざまな分野の発展のために、決意を新たにしている。

案内

第5回 家畜感染症学会シンポジウム

日時:平成27年6月5日(金) 10:30~16:30
(受付開始 9:30~)

場所:東京大学医科学研究所講堂(1号館1階)

テーマ:肉牛の栄養・代謝と感染症

内容:

①基調講演

「腸管での多面的免疫ネットワークを介した生体防御と疾患」

國澤 純(独医薬基盤研究所)

②ランチョンセミナー(株)微生物化学研究所企画

③平成27年度家畜感染症学会定期総会

④シンポジウム:

演題3題

- ・松田敬一(NOSAI宮城)
- ・岡 章生(兵庫県立農林水産技術総合センター)
- ・入江正和(近畿大学生物理工学部)

⑤アンケート報告

「乳房炎に関する全国アンケート報告」

菊 佳男(国立研究開発法人
農研機構・動物衛生研究所)

参加費:

【事前登録】会 員 3,000円 賛助会員 3,000円

非 会 員 6,000円 学 生 1,000円

【当日登録】会 員 4,000円 賛助会員 3,000円

非 会 員 8,000円 学 生 1,000円

問合せ:

家畜感染症学会 HP

<https://sv23.plus-server.net/~kachiku/postmail/postmail.html>

家畜感染症学会事務局(佐藤礼一郎)

E-mail: request@kachikukansen.org

案 内

2015 年度 動物用抗菌剤研究会第 42 回シンポジウム

日 時：2015 年 4 月 25 日(土) 10:00～17:00

場 所：日本獣医生命科学大学 E 棟 1F 111 講義室

内 容：

①総 会

②特別講演

「医療現場を脅かす薬剤耐性菌はどこから来たのか—厚生労働省院内感染対策サーベイランス(JANIS)と家畜抗菌薬モニタリング事業(JVARM)からみる我が国の薬剤耐性菌—」

鈴木里和 (国立感染症研究所)

③シンポジウム I

テーマ：「伴侶動物医療における抗菌薬の使用と薬剤耐性菌の出現」

・「伴侶動物における感染症の現状と化学療法」

兼島 孝 (みずほ台動物病院)

・「伴侶動物医療における抗菌薬の使用方法与課題」

下川孝子 (山口大学)

・「伴侶動物医療における薬剤耐性菌の出現状況」

片岡 康 (日本獣医生命科学大学)

・「犬への第一世代セフェム系抗生物質投与による β -ラクタマーゼ産生大腸菌の選択」

木村亜矢子, 浅井鉄夫 (岐阜大学)

・「伴侶動物から分離されるグラム陰性桿菌の薬剤耐性(仮題)」

原田和記 (鳥取大学)

④シンポジウム II

テーマ：「新規に開発された動物用抗菌剤」

・「ツラスロマイシン」

堀井忠夫 (ゾエティス・ジャパン(株))

問合せ先：動物用抗菌剤研究会事務局 (日本獣医生命科学大学 獣医微生物学教室内)

TEL 0422-31-4151 (内線 253～255)

FAX 0422-31-4560

E-mail : info@jantianim.jp

募 集

紹介「学会・研究会」の募集

このたび日本獣医師会雑誌では、獣医学関連分野で広く活動を行っている、学会・研究会を読者に紹介し、さらなる獣医学術の発展、獣医療従事者の人材育成に資するよう、紹介「学会・研究会」をシリーズ企画として掲載することといたしましたので、掲載を希望する学会・研究会におかれましては、下記に基づき原稿をご投稿いただきたくよろしく申し上げます。

記

執筆要領：日本獣医師会学会学術誌投稿規程
(第 67 巻第 12 号 949 頁参照)

原稿字数：1,000～1,600 字以内
(別に写真 1 枚添付可)

執筆内容：以下の項目を順に記載

- 1 学会・研究会名 (英文名)
- 2 事務所所在地 (郵便番号, 住所, 電話番号, FAX 番号, E-mail アドレス, ホームページ URL)

3 目的

4 組織 (代表者名, 会員・役員構成 (人数を含む))

5 沿革 (設立年月日, 設立経緯, 経過等)

6 活動内容と特色 (活動状況, 活動への参加方法, 入会の方法を含む)

7 文責者

その他：掲載の可否は日本獣医師会雑誌編集委員会の審査による

行事等

3月4日：全国緊急災害時動物救援本部理事会に矢ヶ崎
専務理事他出席
：全国緊急災害時動物救援本部評議員会に
北村顧問出席
3月5日：獣医師賠償責任保険中央審議会
3月10日：第18回総務委員会
3月12日：北里大学大学院獣医学系研究科・獣医学部
学位記授与式、祝賀謝恩会に酒井副会長出席

3月13日：業務運営幹部会議
3月16日：第3回犬猫幼齢個体を親兄弟から引き離す
理想的な時期に関する調査手法等検討会
3月19日：第18回産業動物臨床・家畜共済委員会
：中央畜産会第4回理事会に藏内会長出席
3月20日：第5回理事会
3月27日：第1回役員候補者推薦管理委員会

募集

◎獣医師

岩手県鳥獣保護センター 獣医師募集

募集人員：1名

勤務日：原則週4日（水～土）

※事情のある場合は、勤務日割振り変更可

勤務時間：9:00～17:15（休憩 12:00～13:00）

採用予定：平成27年5月1日

所属：岩手県 環境生活部 自然保護課

勤務場所：岩手県鳥獣保護センター

（滝沢市砂込390-29、盛岡大学近く）

勤務体制：獣医師2名（非常勤職員、交代勤務）

臨時職員1名（常勤）

日々雇用職員（年間30日程度）

勤務内容：幼傷病鳥獣の治療（搬入された野生鳥獣の
治療、治療後の放鳥獣）

飼養鳥獣の飼育（治療中及び終生飼養鳥獣
の給餌、飼育舎の掃除）

普及啓発等（鳥獣保護センター通信の作
成、見学対応）

施設の管理（センター内の草刈り、除雪、

掃除、医薬品・機器の管理）

必要な資格：獣医師免許

普通自動車運転免許（マニュアル）

報酬：【獣医師】月額170,000円／週4日勤務

※通勤手当有り（上限11,600円／月）、

昇給なし、賞与なし、退職手当なし

保険等：週4日勤務（雇用保険、健康保険、厚生年
金、介護保険すべてあり）

任期：1年間（ただし、1年毎に任用更新有り）

休暇：有給休暇（週4日勤務）初年度10日取得
可能。

※次年度以降、有給休暇の取得可能日数は
増加。夏休み5日取得可、年末年始休暇
有り（他の職員と交代勤務）。

問合せ先：岩手県庁 自然保護課

〒020-8570 盛岡市内丸10-1

☎019-629-5371

担当：藤原・奥村

紹介

◎新刊

臨床獣医師のための牛の繁殖と超音波アトラス

超音波画像と実写の写真を並べ約 400 点の画像で、組織の状態を視覚的に解説するとともに、発情周期を細分化し、ステージごとの卵巣の状態を観察する等、「排卵後日数の把握」に有効な、超音波技術の基礎から妊娠診断、胎子の性判別、繁殖障害の診断などの実用的なテクニックまで解説する、牛の繁殖超音波検査の実用書。

著者：Manuel Fernández Sánchez

監訳：大澤健司

A4 判変型 オールカラー 96 頁

ISBN978-4-89531-217-2

定価：本体 7,200 円 (税別)

発行：株緑書房 (チクサン出版社)

問合せ先：株緑書房 (チクサン出版社)

☎ 03-6833-0567 FAX 03-6833-0576

E-mail : shigeta@mgp.co.jp